

OKADA Saburōsuke and Excellent Selections Related to Saga
Focusing on the Collection of the Saga Prefectural Art Museum



岡田三郎助《少女読書》1924 佐賀県立美術館

2022年9月28日(水) - 11月6日(日)
WED 28 SEP - SUN 6 NOV

岡田三郎助と 佐賀ゆかりの美術

— 佐賀県立美術館優品選

開館時間：9:00 - 17:00

9月28日(水)は10:00開館 10月29日(土)は19:00閉館
(入館は閉館30分前まで)

休館日：月曜日 但し10月10日(祝)は開館、翌11日(火)は休館

観覧料：一般 1000円、65歳以上 800円*、大学生 500円*、高校生以下無料*

*年齢や所属を確認できる証明書や学生証等をご提示ください。*キャンパスメンバーズの学生は無料
*障がい者手帳持参者とその介護者1名は無料 *本展会期中の「岡山の美術」展もご覧いただけます。

主催：岡山県立美術館

共催：山陽新聞社

特別協力：佐賀県立美術館、佐賀県立博物館

協力：公益財団法人鍋島報効会

後援：岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、公益財団法人岡山県郷土文化財団、
公益社団法人岡山県文化連盟、一般財団法人岡山県国際交流協会



《色絵花蝶図輪花型深鉢》(柿右衛門) 1670-90
佐賀県立博物館 佐賀県重要文化財



野村昭嘉《雲の製造1》1988 佐賀県立美術館



木崎盛徳《肥前国産物図考》1773-84
佐賀県立博物館 佐賀県重要文化財



百武兼行《マンドリンを持つ少女》1879
公益財団法人鍋島報効会 佐賀県重要文化財

《関連イベント》要観覧券（半券可）

- 記念講演会**
 演題：肥前佐賀と美の流転
 講師：福井尚寿氏
 （佐賀県立美術館・佐賀県立博物館 館長）
 日時：10月8日（土）14:00-15:30
 場所：2階ホール
- 記念講演会**
 演題：佐賀県の美術と画家野村昭嘉
 講師：野中耕介氏
 （佐賀県立美術館 学芸課美術系担当係長）
 日時：10月15日（土）14:00-15:30
 場所：地下講義室
- 作品解説会**
 演題：佐賀の美術を探访する
 講師：廣瀬就久（主任学芸員）
 日時：10月23日（日）14:00-14:30
 場所：地下展示室

旧佐嘉城三の丸跡に開館した佐賀県立美術館は、同県にゆかりのある、明治時代以降の絵画と彫刻、工芸、書を収集しています。

所蔵品を際立たせているのは、東京美術学校西洋画科教授として活動した岡田三郎助（1869-1939）の画業が通覧できるコレクションです。繊細な筆致と優美な色調で描かれた女性像は、日本的な美意識を油彩画に展開したものと高く評価されています。そして岡田が私淑した百武兼行（1842-1884）、岡田とともに活動した久米桂一郎（1866-1934）は、明治期の日本美術史を語る上で重要な画家です。

そのほか、第2次世界大戦の体験や戦後の世相をもとに、独自の作風を貫いた古澤岩美（1912-2000）や池田龍雄（1928-2020）、気鋭のイラストレーターとして注目されながらも夭逝した野村昭嘉（1964-1991）、現在米国に在住し、緻密な細部を大画面に集積したペン画で、国内外を驚嘆させている池田学（1973-）などが広く知られています。本展では70余点の絵画を展示します。

公益財団法人鍋島報効会が所蔵する百武兼行の代表作を揃えます。また佐賀県立博物館の協力を仰ぎ、佐賀の歴史を紹介する文物や、有田焼、鍋島更紗など佐賀が誇る伝統工芸を紹介する展示会です。



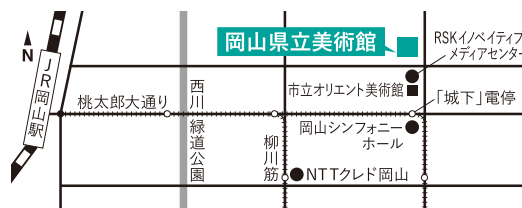
池田学《けもの隠れ》1999 個人蔵（佐賀県立美術館寄託品）



《素環頭鉄刀》（二塚山遺跡出土）弥生時代 佐賀県立博物館 国指定重要文化財



岡田三郎助《花野》1917 佐賀県立美術館 佐賀県重要文化財



交通案内 [JR岡山駅 後楽園口(東口)から]

- 徒歩 | 15分
- 路面電車 | 東山行「城下」下車 徒歩3分
- 岡電バス | 後楽園、藤原団地行き「天神町」下車すぐ
- 宇野バス | 四御神／瀬戸駅／片上方面行き「表町入口」下車 徒歩3分

ご来館の際は、できる限り公共交通機関をご利用ください。

岡山県立美術館
 OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒700-0814 岡山市北区天神町8-48
 TEL 086-225-4800 FAX 086-224-0648
<https://okayama-kenbi.info/>